

先進的・効果的な施設マネジメントの実践事例 —「計画的な修繕と財源確保」と「既存スペースの再配分」— (概要)

- 文部科学省では、各国立大学等における施設マネジメントのより一層の推進のため、平成27年3月に、経営者層に向けた報告書「大学経営に求められる施設戦略～施設マネジメントが教育研究基盤を強化する～」を作成しました。
- この報告書を踏まえた施設マネジメントの実践に参考となるよう、特に喫緊の課題と考えられる「計画的な修繕と財源確保」及び「既存スペースの再配分」にまずは焦点を絞り、事例集を作成しました。

「計画的な修繕と財源確保」 掲載事例

01 東京大学

各部局の主体的な取組を促す
「施設修繕準備金制度」

部局の準備金により
既存スペースを改修した研究室



02 富山大学

スペースチャージ制度で
施設の有効活用にも効果

課金を財源に改修された実験室



03 名古屋大学

学内予算配分方法の見直しによる
基幹設備の計画的更新

照明設備が更新された研究スペース



04 豊橋技術科学大学

計画的な教育研究環境改善
のためのスペースチャージ制度

課金を財源に改修された女子トイレ



05 京都大学

本部と部局での費用負担による
3か年の緊急対策

外壁の修繕を行った教育研究施設



06 大阪大学

部局間の公平性に配慮した
全学的な老朽化対策

課金を財源に創出した学修スペース



07 島根大学

財源の一元管理により目指す
コスト平準化と修繕費縮減

空調設備が更新された講義室



「既存スペースの再配分」 掲載事例

01 千葉大学

施設利用者が入力する
データベースの活用

データベースの情報を活用した再配分により
創出した新組織の講義室



02 山梨大学

全ての施設を本部で一元管理

学内の教育研究プロジェクトに活用されている
学長裁量スペース



03 豊橋技術科学大学

未来の施設利用計画の策定

計画に基づく再配置により
実験室から用途変更した講義室



04 広島大学

大学独自の面積基準の活用

レンタルラボとして活用されている
学長裁量スペース



05 愛媛大学

面積基準とスペースチャージ
を組み合わせた仕組み

基準を超えた使用面積へのチャージを
利用して整備した異文化交流スペース

